

消費者との協働による集落活性化を 目指して ～「農事組合法人 西の郷」の取組み～

1 課題の背景

- 農業での生計維持を目的に、集落の若い世代が平成18年に法人を設立したが、米価低迷、資材高騰などにより収益性は低下
 - これまでどおりの委託販売では消費者に想いを届けることができず、有利販売にもつながらない
- ⇒ **顔が見える販売により消費者とのつながりを築く必要**

2 活動の内容

西の郷の理念の
実現に向けて

流通・販売支援

お米をとおして、消費者へ自分たちの想いを届けたい

【支援内容】
オリジナルパッケージ作成(H20)
消費者交流会開催検討(H21～)



地域資源発掘支援

消費者と共に、昔ながらの里山と田んぼの生き物を守り続けていきたい

【支援内容】
田んぼの生き物調査研修会(H19～)
西の郷里山再生プロジェクト(将来目標)



浜田農業普及部
浜田市弥栄支所
浜田市農林業支援センター
島根県農業技術センター
しまねブランド推進課

その他関係機関
による重点支援

栽培技術支援

農薬・化学肥料を使わない、安全・安心でおいしいお米をつくりたい

【支援内容】
有機農業研修・技術実践(H20～)
除草剤を使わない米づくり実証ほ(H20)



西の郷の理念

私たちは、お米づくりをとおして、地域の自然環境と生き物、人々の幸福と健康に貢献します

3 活動の成果

- 消費者ニーズに基づく8つのコンセプト作成(商品(米)、ホームページ、交流等)、名称決定、パッケージ作成(1月完成予定)
- 広島市内の販売店等と商談実施(現在3社と商談中)
- 生産者と消費者が共に支えあう仕組みづくりを目指し、消費者交流会を実施予定(H21～)

4 今後の課題

- PB米栽培技術の定着と新たなブランド化
- 里山環境の整備による集落交流人口の拡大
- 次世代の後継者を確保できるだけの収益確保